

一中学生の最善最高の自覚と実践 NO6(R4.7.19)

○校長より 「一学期を振り返って」

新たに一中に勤務することになったの4月、就任式・始業式での生徒たちの聞く態度のよさに感心しました。早いものでそれから4ヶ月近くが経ちました。その間、転んで困っていたお年寄りを家まで送ったり、登校途中にけがをした小学生を小学校まで連れて行ったり等優しく立派な行動をとる一中学生がいました。校門できちんと礼をする一中学生、掃除を無言で黙々と取り組む一中学生、部活動で懸命に頑張る一中学生の姿もたくさん見ることができました。この一学期間、生徒たちは様々な経験をし、成長してくれたと感じています。学校としても、特に家庭学習の習慣の定着と充実、朝自習・授業等においてタブレットパソコンを活用した学習にも取り組んでまいりました。しかし、「徹底」というところまでは、まだ至っておりません。二学期も継続して取り組み、「浸透」「徹底」していくよう頑張りたいと思っております。

保護者、地域の皆様におかれましては、この一学期間、学校の取組として不十分な点も多々あったと恐われますが、一中の教育活動へのご理解とご支援をいただき大変ありがとうございました。

この夏休み、生徒たちが健康で安全な毎日を送り、二学期の始業式で元気に会えることを願っています。

☆最善

『最善な交通マナーを！交通安全教室！！』



☆最高

『八代中体連表彰！県中体連結団式！！』



☆自覚

『3年生の自覚高まる！上級学校説明会！！』



☆実践

『古紙回収！ボランティア委員会の活動！！』

